

【川崎駅周辺地区】アートマップ

産業振興会館「SDGs ART SPACE」
 施設の雰囲気・環境の向上を図り、協働アート活動公益財団法人川崎市産業振興財団とNPO法人studio FLATとの協働アート活動「SDGs ART SPACE」を周知することを目的に施設内にアート作品を2〜3か月ごとに入れ替えながら常時展示。



ミュージア川崎「Colors かわさき展」
 「パラアート推進事業」の一環として、展示会を定期的で開催。(川崎市文化財団)

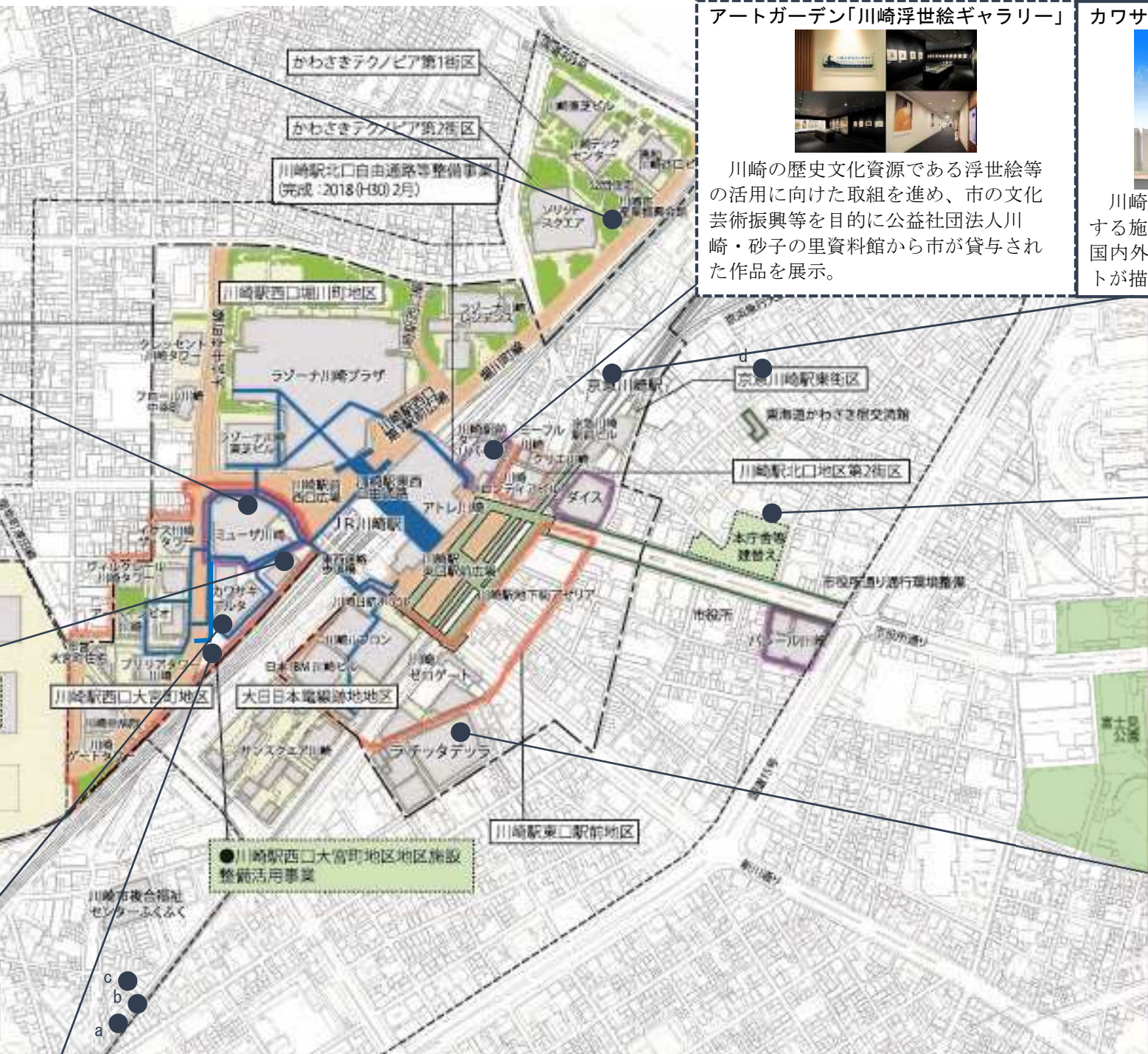


ホテルメトロポリタン川崎



「若き才能を応援する、ギャラリーさながらのホテル」を目指し、70〜90年代生まれのアーティストによる現代アートを展示。新しい作品に出会えるよう、一部の作品を定期的に入れ替えながら展示している。

JR川崎タワー（富士通）
 企業のパーパスと川崎の魅力をテーマとしたアートを各フロアに展示。



アートガーデン「川崎浮世絵ギャラリー」
 川崎の歴史文化資源である浮世絵等の活用に向けた取組を進め、市の文化芸術振興等を目的に公益社団法人川崎・砂子の里資料館から市が貸与された作品を展示。



カワサキ文化会館
 川崎プレイブサンダースが整備・運営する施設において、建物外装や館内には国内外で活躍するアーティストのアートが描かれている。



d. 東海道 BEER 川崎宿工場
 リノベーションされた店内に「東海道」、「川崎宿」、「多摩川」の近未来をイメージしたミューラルアートが描かれている。



ホテル縁道
 江戸時代、東海道五十三次の宿場町から稲毛神社に向かう参道だった場所にホテルが立地していることに因んで、江戸時代からの歴史や文化を現代に解釈したアートを全客室そしてホテルエントランスに設置。



本庁舎整備工事現場の仮囲いへのミューラルアート



ストリートカルチャーを活用したまちづくりの一環として、本庁舎整備工事現場の仮囲いを彩り、本市の文化を市内外に発信し、イメージアップを図ることを目的にミューラルアートを制作。(令和4年12月で工事現場での掲出を終了し、市内での移設を予定)

ラチッタデッラ「WALL ART GALLERY」
 チッタグループ100周年記念プロジェクトにて、施設内の大型壁面看板にアートを掲出。一般からもアート作品を募集し、優秀作品4作品を掲出。



【2023年10月15日開業予定】SUPERNOVA 川崎
 「緑のまちづくり」「音楽や映像のまちづくり」を推進するエンターテイメントホール（ライブハウス）が建設中。2023年10月15日に開業予定。



a. ひさ美ウオールアート
 旅館「ひさ美」の雰囲気を生かすよう、えんじ色を主として日本らしい柔らかな色合で制作されたアート。



b. 京急電鉄ウオールアート
 京浜急行電鉄の線路沿いにある壁面を6枚ずつ使って、4人のアーティストが制作。



c. ニュー大和
 リノベーションした簡易宿所「ニュー大和」の入り口に描かれた屋根瓦の色をベースにした日本らしいアート。



シャッター浮世絵ギャラリー
 かつての東海道川崎宿にあたる本町、砂子、小川町において、地域の協力を得て通り沿いの店舗シャッターなどに浮世絵や川崎宿をイメージした絵が描かれている。

